

ピースウィンズジャパン (PWJ) 主催

第3回多機関連携災害時医療救助訓練

活動報告

兵庫県薬剤師会 伊丹支部

災害公衆衛生部委員 喜多村貞子

今回、ピースウィンズジャパン (PWJ) 主催の多機関連携災害時医療救助訓練に日本災害医療薬剤師学会 (JPSDR) より、薬剤師 10 名 (5 名参加者、5 名見学者) で参加、空飛ぶ捜索医療団、災害人道医療支援会、徳洲会医療支援チーム、台湾鉄漢隊など他の医療チームと協同してフィールドホスピタルの設営及び運営に従事した。

また、兵庫県薬剤師会の災害対策医薬品供給車両 (ソリューションカー) を日本災害医療薬剤師学会 (JPSDR) の薬剤師の活動拠点場所とし、JPSDR の参加者として活動した。

日時：2022 年 12 月 10 日(土)、11 日(日)

場所：高知県二十三土公園

参加団体：ピースウィンズ・ジャパン (以下 PWJ : Peace Winds Japan) /空飛ぶ捜索医療団 (ARROWS) /災害人道医療支援会 (以下 HuMA : Humanitarian Medical Assistance) /災害時緊急支援プラットフォーム (以下 PEAD : Platform of Emergency Assistance in the Disaster) /徳洲会医療支援チーム (TMAT : Tokushukai Medical Assistance Team) /Civic Force (緊急即応チーム) /台湾鉄漢隊/日本災害医療薬剤師学会 (以下 JPSDR) 他

【訓練スケジュール】

12 月 10 日(土)

受付開始 12 時～

開会式 13 時～

訓練開始 13 時 30 分～

1 日目想定終了 19 時 30 分

12 月 11 日(日)

再集合 6 時 50 分

2 日目想定終了 13 時

振り返り 14 時～

閉会式 15 時 45 分

解散 16 時



【災害想定】

令和4年12月6日午前6時、南海トラフ巨大地震が発生、その後大津波も発生。東海地方から九州にかけての太平洋側の広い地域で甚大な被害が発生した模様。高知県内においても、最大34mを超える津波が押し寄せ、わかっているだけでも死者は4.9万人に及んでいる。また、沿岸部を走る交通路は断絶し、アクセス困難な状況となっている。

【状況設定】

高知県災害対策本部は、保健医療調整本部を設置し、安芸医療圏にも活動拠点が設置された。

発災2日目(12/8)、PWJ/HuMA/PEAD/Civic Force 田野町内でField Hospitalの展開を決定。

高知県保健医療調整本部による調整を受け、ロジスティクスチーム、台湾鉄漢隊、日本災害医療薬剤師学会(JPSDR)他が12/10に合流する運びとなった。



【JPSDR 内役割】

見学者 5名

- 高知市災害薬事コーディネーター 2名
→行政のマニュアルを元に医薬品の供給など指示し、流れを把握して整備する
- 兵庫県薬剤師会 1名
→車両展開の検証、兵庫県薬剤師会とJPSDRとの調整、現場でソリューションカー
コントローラー
- 災害医療薬剤師学会 1名
→全体統括、(仮想)高知県庁
- 残り 1名
→(仮想)高知県薬剤師会

参加者 5名

- リーダー 1名、
- 副リーダー 1名
- その他支援者 3名



【JPSDR 活動内容】

1日目 12月10日(土)

13:00～

- ・ソリューションカーを展開し、日本災害医療薬剤師学会拠点本部、調剤所設営
- ・PWJ 薬局テント内に投薬・服薬指導場所設営
設営中より、業務開始

2日目 12月11日(日)

6:55 業務開始

【JPSDR 業務内容】

ソリューションカー内

本部／県庁・学会長等との調整、医薬品等供給要請、経時的活動記録(クロノロジー)記載、医薬品発注書作成、ToDoリスト記載、全体ミーティング等

調剤所／災害処方箋また災害診療記録の処方調剤・監査・疑義紹介、在庫管理、医薬品リスト作成、医薬品リスト英語版作成、他団体との連携、災害診療記録回収・管理情報入力、Jspeed入力等



薬局テント内

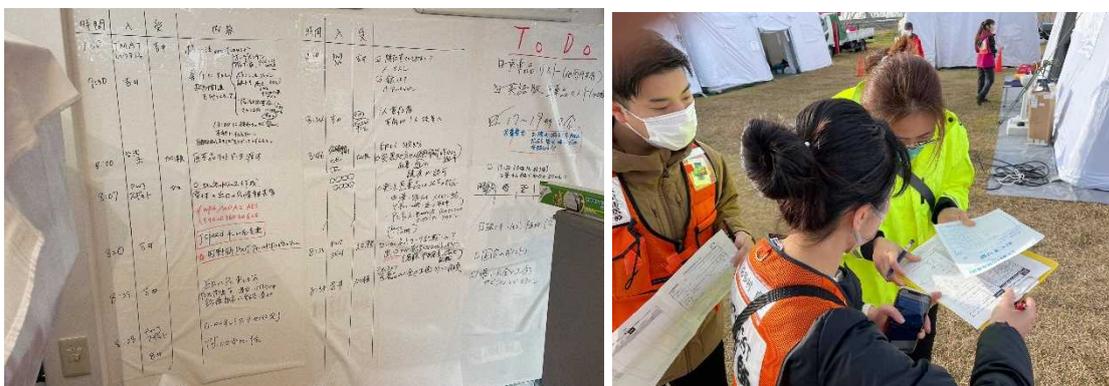
投薬・服薬指導、疑義照会、他団体との連携



【JPSDR 持参物（兵庫県薬剤師会・個人所有含む）】

ノートパソコン、エアコン、折りたたみサマーベッド、ソーラー充電器、おもり、コピー機、A4 コピー用紙、トランシーバー、ライティングシート、ハサミ、輪ゴム、セロテープ、油性ペン（赤、黒、青）、ホワイトボード用ペン、養生テープ、ガムテープ、付箋、鉛筆、ボールペン、トレイ、クリアファイル、バインダー、ライト、ランタン、ベンチ、机、椅子、キャンプ用椅子、キャンプ用机、冷蔵庫、分包機、調剤棚、パーティション、感染対策キット（ガウン・キャップ・ビニール手袋）、消毒剤、45L ゴミ袋、ポケット医薬品集等

私の主な業務は、副リーダーとして、ソリューションカーの中で、クロノロジー記載、クロノロジー電子化、Jspeed の使い方説明・入力、調剤・監査、調剤・監査・在庫管理方法提案、疑義照会指示、台湾チームへ診療記録の処方箋記載方法確認と説明・疑義照会、災害診療記録回収・管理・情報入力を行った。



【考察】

今回の訓練で、今まで、机上で行ってきたことを、活かしていく形となった。今までの研修で学んでいたことで、役に立ったことは、JSPEED、クロノロジー、感染対策等を学んでいたことは大きかった。今回は、研修・訓練・実災害ほぼ未経験の参加者であったため、現場で個人の実力を試されることにもなった。机上の訓練等をしていなかった参加者は、私より大変であったと思う。ほかの参加者がどの程度の知識があり、対応できるのかわからなかったため、知らない参加者に場面場面で指導できず、疎かになってしまったことが悔いてしまう。また、チーム内での連絡方法もトランシーバーの使い方すら知らず、リーダーが会議に行ってしまう場面もあり、今後はそのようなことのないように、リーダーを筆頭に、チームビルディングを最初にしておく必要があった。そして、クロノロジー等も見返す時間もなく全員に連絡事項など周知できていたかも不明で、また、休憩も必要であったが、時間配分が難しく感じられた。その都度チーム内で、ブリーフィングを行うべきであった。

そして、今回は台湾からの派遣チームも参加していたため、英語でのコミュニケーションも必要であった。台湾チームからの医薬品リストを英語でほしいとの要望もあり、英語に長けた薬剤師が1名いたため、対応が即時にできた。災害診療記録にも英語で病名・経過等記載されており、略語も使用し処方されていたため、医療英語・略語の知識も必要であった。派遣チームだけでなく、海外の患者も想定されていたため、言語にも対応できるようにすべきであると感じた。ある程度の英語のコミュニケーション、英語の表記は必要である。

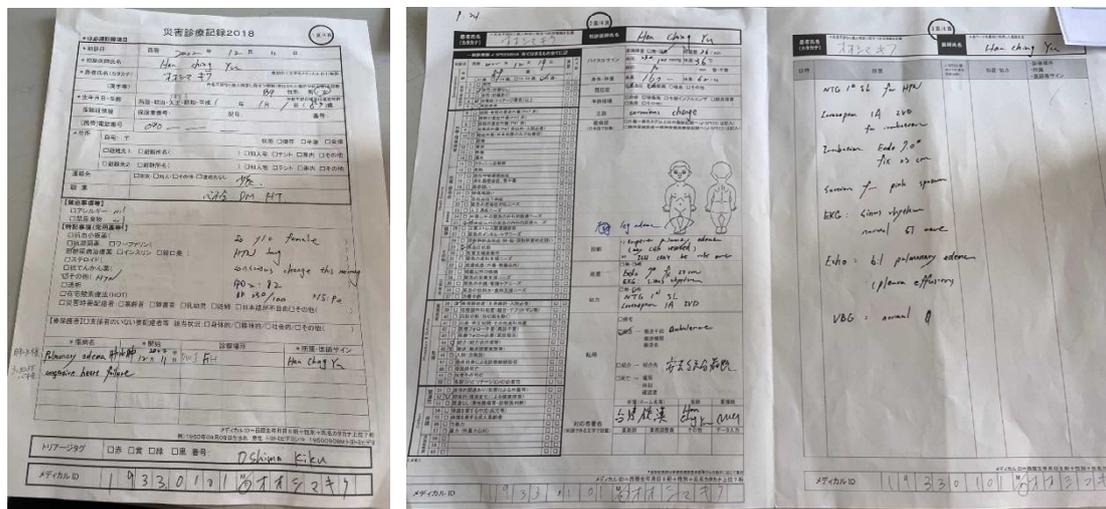
薬剤師業務としては、調剤・鑑査・疑義照会が必要であるが、緊急の方も多かったため、即時の判断、処方変更提案、また、処方の記載が判断できないものも多々あったので、積極的な疑義照会をしていかなければならない場面（台湾チームへも）も多く見受けられた。

想定の中で、粉碎指示もあり、できる体でやったが、実際には調剤できるものはなく、必要最低限の道具は必要であると考え。また、臨時の頓服薬、外用薬多く、それに対応した薬袋は必要であると考え。持参した薬袋は繰り返して使用できる薬袋であったが、繰り返して使うことは半分くらいであり、用法が異なっていたりと、外用薬も合わせて処方されることも多かったため、同一薬袋に入れるのは不可能であり、患者にとってリスクが大きいのではないかと考える。薬袋の様式を考え直し、お薬手帳なども活用してはどうか。

また、緊急用の医薬品、主に注射薬など、他団体より聞かれることが多くあったため、先遣隊、県調整本部、県薬剤師会等を含めて他団体等の持参している医薬品の情報共有や持参する医薬品を再度検討していく必要があると感じた。

あと、危機管理意識が欠けており、ソリューションカーを施錠もせずに無人にさせてしまった。ソリューションカーの中には、医薬品以外に、フィールドホスピタル内で使用されていた災害診療記録も最終的に管理していたため、危機意識を高めなければならない。

災害時には、訓練以上に不足を感じる人が多いと思う。そのため、訓練で必要であったと思うこと、ものは、準備が必要である。様々な想定での訓練に参加し、一刻でも早い復旧、救助につなげていく必要がある。



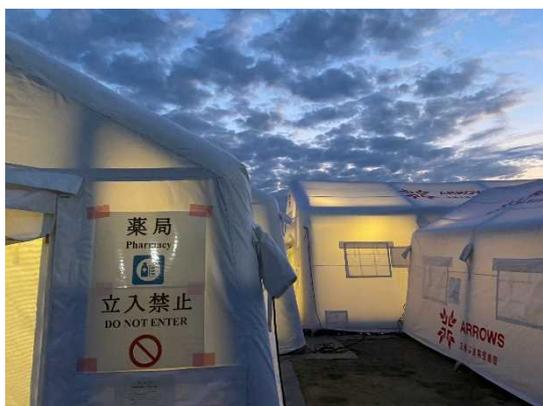
〈災害診療記録 台湾鉄漢隊 Dr. 記載〉

【感想】

今回、このような大規模の多機関連携訓練に参加できたことは非常に貴重な経験となった。また、兵庫県薬剤師会の災害対策医薬品供給車両（ソリューションカー）を用いて訓練に参加でき、ソリューションカーを本部機能と調剤所として活用した。投薬・服薬指導の場は、PWJ のテントを使用したため、想定し、持参したテントでの投薬・服薬指導は行わなかったが、ソリューションカーのさらなる可能性が見られたため、他にもいろんな訓練にソリューションカーを用いて参加してみたい。

自己研修でも、まだまだ必要なことがあり、実際に様々な災害の研修に参加しているが、このような訓練ではスムーズにはできなかった。DMAT、日赤などは定期的に訓練を行っていても実災害では、違うという理由がわかった。

この訓練での経験を活かし、次の訓練・研修に活かし、実災害で、一秒でも早い復旧・救助につなげていきたいと思う。



【今後準備検討すべきもの】

Wi-Fi

衛星電話

目立ちわかりやすい大きな看板

自分達仲間の共通のユニフォーム

簡易水道、簡易トイレ、ビニール手袋、マスク、ゴーグル

雨天の場合の準備（雨天時用スリッパ、雨天時用出入口の日差し）

掃除道具

全てに英語表記

医療英語略語表記

年齢早見表

粉砕器、乳鉢、乳棒、薬さじ、濾し器、薬包紙

長期での滞在を考えた薬袋

頓服・外用の薬袋

輸液、インスリン、救急用薬剤

